



### 議決結果等

項目	件数	概要	結果
知事提出の予算案件	1件	平成20年度和歌山県一般会計補正予算	可決
知事提出の条例案件	6件	和歌山県子どもを虐待から守る条例等	可決
知事提出のその他案件	6件	和歌山県土地開発公社の定款の一部変更について等	可決
知事提出の人事案件	10件	和歌山県公安委員会の委員の任命につき同意を求めるについて等	同意
知事専決処分報告	8件	平成19年度和歌山県一般会計補正予算等	承認
請願	1件	紀の川市東山田地内の林地開発申請に伴う建設残土処分場建設に関する林地開発許可を与えない旨についての請願書	採択
	2件	かつらぎ町道折登堀越線の県道昇格について等	継続審査
意見書	5件	身体障害者に対する駐車規制及び駐車許可制度運用の見直しに関する意見書等	可決
決議	1件	「権利の放棄について」に係る附帯決議	可決

### 会期中の主な動き

- 下記の特別委員会を開催しました。  
防炎・環境問題等対策特別委員会(6/18)、議員定数等検討特別委員会(6/19)、人権・少子高齢化問題等対策特別委員会(6/20)
- 議長・副議長の選挙が行われ、議長に大沢広太郎議員、副議長に山田正彦議員を選出しました。
- 常任委員会、予算特別委員会及び議会運営委員会の委員と委員長・副委員長を選任しました。

### 会期：6月11日から6月28日までの18日間

6月11日(水)	本会議	18日(水)	本会議	26日(木)	本会議・常任委員会
12日(木)	議案調査	19日(木)	本会議 (一般質問)	27日(金)	本会議
13日(金)		20日(金)		28日(土)	
16日(月)		23日(月)			
17日(火)		24日(火)	常任委員会		

**問** 社会実験については、期間及び時間帯を限定して、年内に実施することとしている。早期無料開放については、実験結果を踏まえ、渋滞緩和や経済効果、コストなど、種々の要素を総合的に勘案するとともに、県民や議会の意見も聞き、前向きに検討していきたい。

**答** 本年の2月定例会で、紀の川河口大橋の通行料無料化の社会実験について質問し、「期間中の収入減に対する損失補てんも伴うが、今後その有効性等について検討したい」との答弁を得た。その後、社会実験について検討されたと思うが、その結果と、今後の早期無料化に向けた取組はどうか。

### 無料化への社会実験

#### 用語解説

**単品スライド条項**  
工場の発注後、急激に主要材料などの単価が値上がりして請負代金額が不相当となった場合、その値上がり分を含んだ代金を請求できるという条項。

**問** 現在、原材料価格の高騰もあり、建設業の経営は非常に厳しくなっている。国では28年ぶりに「単品スライド条項」を発動したが、本県工事でも早急にその条項を適用すべきではないか。

**答** 県では、昨年末からの原油高騰を受けて関係建設資材単価を毎月改定するなど、実勢単価での発注に努めているが、発注後の急激な物価高騰に対応するため、国土交通省から示された運用ルールに沿った形で、できるだけ速やかに導入を図りたい。

### 県工事への単品スライド条項の適用



渋滞する紀の川大橋



紀の川河口大橋

検討していきたい。

**問** 南紀支援学校(上富田町)は肢体不自由児の特別支援学校で、いろいろな障害のある児童が学んでいる。最も災害に弱い立場の子どもたちが学ぶ学校の耐震対策はどうか。また、大きなハンディキャップのある子どもたちに最善の教育条件を保障する立場から、整備計画はどうなっているのか。

**答** 肢体不自由児には、その障害の整備が重要だと考えている。南紀支援学校の教育環境整備については、耐震化はもちろん、特別支援教育の理念を踏まえ、現在策定を進めている特別支援学校再編整備構想の中で、県立学校全体の施設整備の状況を勘案しながら鋭意検討していきたい。

**問** 観光と予防医療、健康サービスを組み合わせさせた事業は大きな可能性があり、競争も激化しつつある。県では早くから観光と組み合わせさせた新産業の創造に取り組んできたが、その有利性を生かし、「観光医療」といった視点で地域の民間投資を一気に促進させ、ハード整備にも使える新たな助成制度の整備を検討願いたい。

### 教育施設の耐震化

**問** 国体に向けた施設整備については、可能な限り県内の既存施設や近畿各府県の施設の有効活用を努めることとしている。現在、競技団体と市町村の意向調査の結果を踏まえ、競技会場の選定原案を検討している。施設整備費やランニングコストなど、国体開催に係る県や市町村の総合的な財政見通しを勘案しながら、競技会場の選定を計画的に行っていきたい。

**答** 国体に向けた施設整備については、可能な限り県内の既存施設や近畿各府県の施設の有効活用を努めることとしている。現在、競技団体と市町村の意向調査の結果を踏まえ、競技会場の選定原案を検討している。施設整備費やランニングコストなど、国体開催に係る県や市町村の総合的な財政見通しを勘案しながら、競技会場の選定を計画的に行っていきたい。

### 和歌山国体に向けた施設整備

**問** 競技用施設の中には、クレイ射撃場など、国体終了後に施設の利用収益で運営でき、大きな経済波及効果を期待できるものもある。国体開催に当たり、新設や改修が必要な施設の選定、市町村の施設整備への助成など、基本的な考えはどうか。

**答** 「観光医療」は今後の大事なキーワードの一つなので、市町村や地域の観光協会等が進める健康増進や医療をテーマとした観光地づくりに対し、地域との連携事業の中でお一層支援することとしている。支援に当たっては、地域の観光事業等のニーズや要望をよく聞き、どのような形で対応できるか検討していきたい。

**問** 学習指導要領が改訂され、道徳教育の目標の中に、国と郷土を愛することが明記された。それを踏まえ、教育委員会や学校は、充実した教育内容とするため、道徳の時間の指導を徹底する必要がある。教材の選定も含め、今回の改訂に伴う道徳教育の充実に対する方針はどうか。

### 観光医療振興のための助成制度



**答** 新学習指導要領に示されたとおり、道徳の時間をかなめに、各学校に新設する道徳教育推進教師を中心とした教師が協力して取り組むことが肝要である。地域教材を活用した道徳教育は郷土に対する理解と愛情につながることから、和歌山県の先人の伝記や逸話などを収録した道徳教育郷土資料「ふるさと わかやまの心」を活用するとともに、魅力ある教材の開発にも努めていきたい。

**問** 道徳教育の目標の中に、国と郷土を愛することが明記された。それを踏まえ、教育委員会や学校は、充実した教育内容とするため、道徳の時間の指導を徹底する必要がある。教材の選定も含め、今回の改訂に伴う道徳教育の充実に対する方針はどうか。



### 道徳教育の充実